



坂さんぽ ⑥

「星野さんの坂」

四谷三丁目と長浜町の境で、一般県道東柏崎停車場比角線から市道柏崎2-1号線（旧市道64号線）に下る坂道を「星野さんの坂」という。三井田忠著『比角村史誌』では「この道は三尺巾程のものであったが長浜村の重要な道路で、かつて長浜町の人たちが居住地としていた雀森・鏡日吉神社に通じていた」と記されている。当館所蔵の天保6（1835）年の比角村絵図には長浜村と山王宮に通じる道が描かれているが、これが後に星野さんの坂と呼ばれる道である。

「星野さんの坂」という名は、坂の東側に比角地区の教育に尽力した星野家があり、地元の人々が星野家に対して敬意を払い、名づけたという。星野家の家系は、勤皇の志士と呼ばれ柏崎を戊辰戦争の戦火から救った星野藤兵衛の星野家（本家）に連なる。江戸時代後期に本家から分かれた星野家からは、幾人もの学者が輩出された。

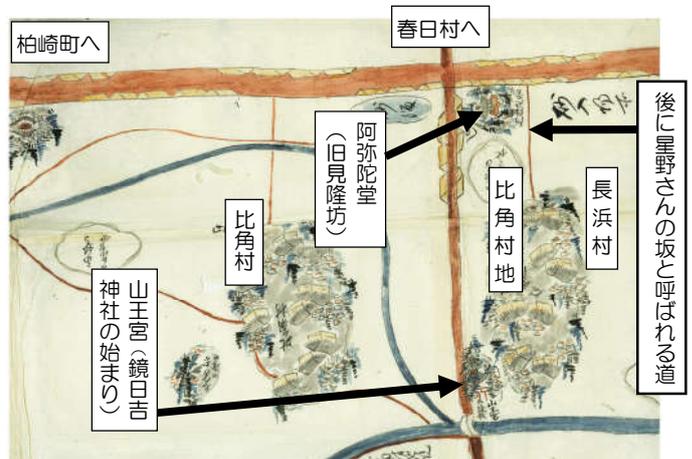
星野鶴水は、天明3（1783）年、田尻村で生まれた。江戸に遊学し朱子学を学ぶと、帰郷し比角の植木小路（現在の四谷三丁目小林はきもの店脇の小路）で、私塾「詠帰堂」を開いた。鶴水は、朱子学を第一によく働き、儉約すること等の大切さを厳しく教え、多くの門人が学んだ。また、明治5（1871）年、鶴水の孫の星野介堂（星野孝太郎）が村の東端に蓋簷舎こうしんしゃを創設した。この蓋簷舎が比角小学校の前身である。



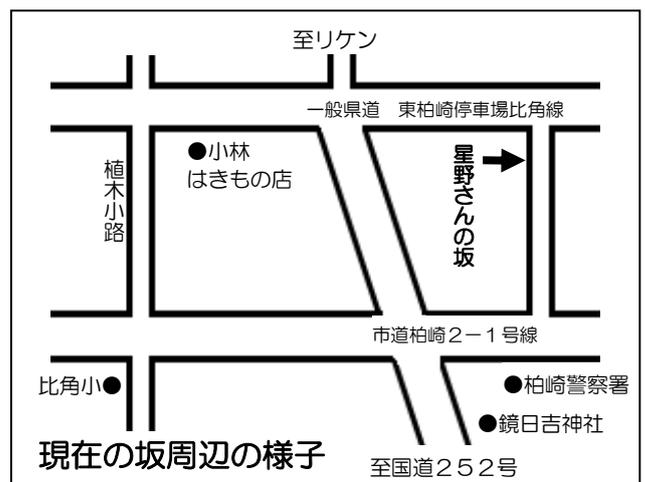
現在の星野さんの坂

●参考にした資料

- 『比角村史誌』三井田忠著（224 ミイ）
- 『柏崎の先人たち』柏崎市編（282 K）
- 『柏崎のいしづみ』山田良平著（224 ヤマ）
- 『ふるさと比角ガイドブック』
比角コミュニティ運営協議会発行（292 Kヒス）



天保6（1835）年比角村絵図（一部抜粋）
当館所蔵 前川家文書（5-173）



現在の坂周辺の様子